

## 令和5年度第1回周南市ごみ対策推進審議会議事録

1. 日時	令和5年6月26日（月曜日）10時～11時40分
2. 場所	周南市役所 1階多目的室
3. 出席者	（委員17人） 赤木 真由、池田 光優、佐守 広志、西 俊明、山崎 信枝、加藤 洋、 磯村 孝、山本 瀧雄、上田 豊、亀谷 ケイ子、鎌田 昌子、佐々木 哲 子、松井 和江、有國 美恵子、住谷 博志、村井 宏輔、山村 満昭 （事務局6人） （傍聴者4人）
4. 議事	(1) 周南市のごみ排出量（令和4年度速報値）について (2) ごみ分別冊子の改定について
5. その他	(1) 今後の周南市ごみ対策推進審議会のスケジュールについて

- 部長挨拶
- 事務局の紹介

（事務局）

出席者数、欠席者数と会議の成立を報告（出席委員17名、欠席委員1名）

- 議事

議事1 周南市のごみ排出量（令和4年度速報値）について

（議長）

議事1、「周南市のごみ排出量（令和4年度速報値）について」、事務局から説明をお願いします。

（事務局）

●別紙資料1-1～資料1-6を基に、ごみの排出量の計画値と実績（速報値）の比較について説明。

【概要】総排出量は概ね計画通りだが、種類ごとにみると、目標を達成できていない状況。

●別紙資料2-1と資料2-2を基に、ごみの排出量の実績と推移について説明。  
また、参考資料として、一人一日あたり及び一世帯一日あたりのごみ排出量の推移について説明。

【概要】 コロナ禍の影響により、一時的に増加していた片付けごみ等の不燃ごみ・粗大ごみが平年並みに減少。資源団体回収はコロナ禍が落ち着き実施回数は増えたが、規模が縮小したまま等の理由により引き続き回収量は減少。総排出量及び家庭ごみ一人一日あたりの排出量は減少。増加させることが目標の資源物や資源団体回収も減少。

●別紙参考資料4ページと参考資料5ページを基に、再資源化の推移について説明。

【概要】 ごみの総排出量が減少傾向であり、資源化量についても減少しているが、トータルでのリサイクル率は増加。種類別にみると増加している項目もあるが、減少している品目が多いことから、資源となるごみの正しい分別について、引き続き啓発が必要。

●別紙参考資料6ページを基に、最終処分量の推移について説明。

【概要】 ごみの総排出量の減少に伴い、埋立量も減少。埋立量を減らすために、引き続き啓発が必要。

●別紙ごみの減量化・再資源化の啓発に関する取り組みについてを基に、令和4年度中に行った啓発活動について説明。

【概要】 環境館での3R啓発の取り組み、正しいごみの分別に関する市広報やケーブルテレビ、チラシ等での啓発など。また、生ごみ削減の施策の一つとして、今後、環境館にて行われる講座「ダンボールコンポスト講座」を紹介。

(議長)

事務局からの説明・内容に対して、委員の皆さんからご意見・ご質問何でも結構なのでお願いします。

(委員)

計画値に対しての実績値が記載されている資料がありますが、現計画での令和6年度の目標値があると、目標に対しての達成度がわかるので良いと思うので、併せて掲載してはどうでしょうか。

(事務局)

当該年度である令和4年度の計画値と実績値の比較だけでなく、計画最終年度で

ある令和6年度の目標値は、現計画で定めている目指すゴールということもあり、併せて記載を検討します。

(委員)

リサイクル率が増加した理由の一つとして「発電寄与量」が増加したため、という項目の説明が分かりにくかったのもう少し詳しく説明をお願いします。

(事務局)

これは、周南市の燃やせるごみを焼却している施設「恋路クリーンセンター」を運営する周南地区衛生施設組合から資料提供をいただいたものです。こちらの施設では焼却時の熱を利用して発電をしております。搬入されたごみについて、ごみ質の検査を行って「紙類」「廃プラスチック類」などの種類毎に分類をし、これらのごみによる発熱量がどれくらいであったか、実際の発電量が何キロワットであったか、などのデータから、ごみの総量のうち、どれくらいの量のごみが発電に寄与したのかを計算により求めたものが「発電寄与量」となっています。

(委員)

資源物や資源団体回収の量が計画より少ないとの説明でしたが、資源団体回収などはコロナ禍で中止されたりすると団体内でのノウハウが失われてしまうということで回収量が減っているのではないかと思うので、例えばリユース品抽選会のような人が集まるイベントで資源団体回収をPRする等の工夫が必要なのではないでしょうか。

(事務局)

資源物に関しては計画値に達していないため、一番の課題であると認識しています。特に、効果が大きいののは、燃やせるごみに混入している雑がみなどを古紙として分別してもらうことで、そのための啓発はしっかり行っていく必要があります。また、資源団体回収については規模が縮小しているものの、実施回数は前年から増加しており、活動が戻ってきている部分もあるのではないかと考えています。ご提案のように、資源団体回収の取組自体を多くの方に知っていただく機会を増やしていきたいと思います。

(委員)

私の住んでいる地域でも資源団体回収を実施しているが、新聞や段ボールの回収量が10年前と比較して明らかに減ったと感じています。資源団体回収による収入も地域の活動費になるため、回収品目を増やすことも考えています。

(事務局)

実際に活動いただいている現場からの声を届けていただきありがとうございます。現在活動している団体はもちろん、コロナ禍で活動を休止している団体やそもそも制度をご存じない団体に向けて、どのように周知していけばよいかについて引き続き検討してまいります。

(委員)

最近、収集場所に出した段ボールが、市の委託業者が回収に来る前に無くなっている場合があります。

(事務局)

ごみ収集場所に出された資源物は、条例で市の所有物としており、市の収入となる大切な財産であり、第三者が勝手に持ち帰るのは条例違反です。明らかな事例があれば、警察等と相談しながら対応を検討するので情報提供をお願いします。

(委員)

粗大ごみ等の不法投棄が繰り返しされる箇所があり困っています。何か対策ができませんでしょうか。

(事務局)

例えば、防犯カメラについては、市が事務局を務める「周南市快適環境づくり推進協議会」が所有しているものを貸し出すことが可能です。本庁及び各総合支所で貸出手続きができるので相談してください。また、安全安心のまちづくりを進めるため、先日も自治会連合会の総会において、自治会が設置する防犯灯に加えて防犯カメラ付きのものを対象とすることについての意向調査をさせていただき、お願いしたところです。

(委員)

地域の方から聞かれたのでお尋ねしますが、ビニールタンはどの分類で出せばいいのでしょうか。

(事務局)

指定袋に入る大きさであれば「燃やせないごみ」の日に出してください。袋に入らない大きさのものは、粗大ごみとして申し込んでいただくか、直接持ち込みをお願いします。なお、ごみの分別冊子の50音別の早見表には「波板(なみいた)」の項目として掲載しています。

(委員)

周南公立大学において、問題解決型のプロジェクトとして、ごみ・環境の視点からも取り組んでおり、啓発の部分で学生も協力できたらと思います。

(事務局)

連携して取り組めることがあれば、是非、積極的に検討してまいりたいと思います。

(議長)

他にご質問はありますか。

(委員)  
意見なし。

(議長)  
議事1につきましては、終了し、次に移ります。

## 議事2 ごみ分別冊子の改定について

(議長)  
議事2、「ごみ分別冊子の改定について」、事務局から説明をお願いします。

(事務局)  
●事前に配布した「ごみの分別方法」の冊子を基に、現在の分別冊子が作成から約5年が経過しており、改定を計画しているため、冊子のレイアウト等の構成や追加品目の具体例について、委員の皆さまからご意見を伺いたい旨について説明。

(議長)  
事務局からの説明・内容に対して、委員の皆さんからご意見・ご質問何でも結構なのでお願いします。

(委員)  
本庁舎に設置してある小型家電回収ボックスは、リサイクル推進課の部屋の中にあり、窓口で職員に手渡しをしなければならない状況で、敷居が高いと感じるという意見もありました。直接ボックスに投入できるよう、1階のロビー辺りに設置できないでしょうか。

(事務局)  
設置スペースの関係もあり、即答はできませんが、どういった方法が利用しやすく且つ効率的な回収ができるか検討してまいります。

(委員)  
最近転入されてこられた方で、外国人の方がおり、ごみの分別の方法がわからないのかルールが守られていないようです。外国人の方にごみの分別方法をわかってもらえるように、分別冊子の外国語版を作成してもらえないでしょうか。

(事務局)  
現在、外国人向けのごみ分別の周知方法として、英語・中国語・韓国語・ベトナム

ム語の4か国の外国語版で、ごみカレンダーと分別方法が記載されたチラシを作成していますのでご活用いただきたいと思います。

(委員)

古紙を出す際に紙を綴じているホッチキスの針は無理に外さなくてもリサイクルに支障はないと聞きました。このことは知らない方も多いので周知が必要ではないでしょうか。

(事務局)

おっしゃる通り、必ずしもホッチキスの針をすべて取り除かなくても、再生処理の工程で針を取り除くことが可能と聞いています。ただ、簡単に取り除ける場合は再生処理の工程での負担も軽減されますので、怪我の無いよう可能な範囲で外していただけたらと思います。

(委員)

リチウムイオン電池が火災につながりやすいとのことで、市広報やホームページでも啓発をしていると思いますが、分別冊子にも掲載してほしいと思います。

(事務局)

特に、最近、ハンディ扇風機や電子タバコなど、一見して電池が内蔵されていることが分かりにくい製品が増えているので、しっかり周知したいと思います。

(委員)

冊子の表紙に「古紙・衣類」や「ペットボトル」などの分類が記載されていますが、ごみカレンダー同梱のチラシでは、これら複数の分類が『資源物』という区分でひとくくりにされています。チラシと同じような表示の方が資源であることが分かりやすいと思います。

(事務局)

現在の分別冊子表紙には「資源物」の記載が無いため、表記を検討します。

(委員)

最終ページに「縦につぶれたペットボトルはその他プラチック」との記載がありますが、知らなかったので、ペットボトルのページの方に入れ込んだ方が良いと思います。

(事務局)

施設での都合上、再生工場に送る際の処理に支障が出る場合があるため、縦につぶれた場合は他プラとしています。テレビCM等で「横方向につぶして」という場合もありますが、周南市ではできるだけつぶさずに出してください。

(委員)

段ボールのページに「粘着テープ・宛先シールなどを取り除いたうえ」と記載があるのでも知ませんでした。取り除く必要があるのであれば、もう少し強調した方が良いと思います。

(事務局)

こちらは、先ほどご意見のあった古紙についてのホッチキスの針と同様、再生工程で大きな支障はないため「できるだけ」取り除いて、という意味です。表現に統一感を持たせるようにします。

(委員)

1 ページ目に、ごみ出しの基本的なルール等が記載されていますが、このページは、ごみ出しの際に特に気を付けてほしい点が載せていると思うので、先ほど、ごみ削減のために大切との説明があった「生ごみの水切り」や「雑がみを可燃ごみから資源物へ」などの内容が入れば良いのではないかと思います。

(事務局)

スペースの都合もあり、全ての掲載は難しいのですが、何を優先して周知するかについて検討させていただきます。

(委員)

他市の事例で可燃ごみを「燃やすしかないごみ」という名称に変えたというニュースを見ました。「燃やすしかない」もの以外は資源に回せるということが伝わりやすいので、今すぐでなくても、ネーミングを変更するという方法もありだと思いました。

(委員)

リサイクルプラザで異物の混入を手選別で行っていますが、作業がとても大変だと思います。いっしょに全て燃やすことはできないのでしょうか。

(事務局)

現状では、より純度の高い資源にするために異物を手作業で取り除いています。全国的には、合わせて全て燃やしているという自治体もありますが、すべて焼却するとなれば、焼却量も増えますし、より大きな出力を持った焼却場が必要となります。本市としてはできる限り資源化するという方針です。現在は人の手で選別していますが、AIなどの精度が上がっていけば将来的にはそういったものに置き換わっていく可能性はあると思います。

(委員)

カセットボンベは、現在、穴をあけて出すことになっていますが、穴を開けずに出すという自治体もあると聞いています。収集する人の安全面もありますので、分かりやすい周知をお願いしたいと思います。

(事務局)

周南市では、収集時や施設搬入時の事故を防ぐために、穴をあけてから出していただくルールとしています。風通しの良い屋外で穴を空ければ危険は無いという認識ですので、しっかり周知させていただきます。

(委員)

乾電池を出す際は、発火等を防ぐために、プラス極とマイナス極にテープを貼ると良いという話をテレビで見たことがあります。周南市でもそうした方が良いでしょうか。

(事務局)

おっしゃるとおり、乾電池の電極同士がつながったまま何かの衝撃で熱を持ったり発火につながるという事例があると聞いています。それを防ぐために簡単にできることとして、電極部分を覆うようにセロテープなどを貼ることで絶縁をするという方法があります。このやり方について、周知徹底するかどうかということも含めて、施設の安全性の確保のため必要であれば冊子への掲載についても検討してまいります。

その他について

(議長)

「その他について」、事務局から説明をお願いします。

(事務局)

今後の周南市ごみ対策推進審議会のスケジュールについて

●別添資料「今後の周南市ごみ対策推進審議会のスケジュールについて」を基に、今後の開催予定日や協議内容について説明。

(議長)

事務局から、その他について説明がありました。何かご質問はありますか。

(委員)

意見なし。

(議長)

それでは、議事進行を事務局にお返しします。

(事務局)

ありがとうございました。以上をもちまして、令和5年度第1回周南市ごみ対策推進審議会を閉会いたします。皆さん、お疲れ様でした。